

病理診断科



専門医資格等
病理専門医
細胞診専門医
死体解剖資格

病理診断科長
森吉 弘毅

平成29年4月1日現在

□ スタッフ

平成29年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野
医師	川畑 茂	死体解剖資格	病理全般
主任臨床検査技師	楠木 秀和	日本細胞検査士 国際細胞検査士	
主任臨床検査技師	池田 俊彦	日本細胞検査士 国際細胞検査士	
臨床検査技師	大上 哲也	日本細胞検査士 国際細胞検査士	
臨床検査技師	永阪麻衣子		
臨床検査技師	片山 由衣	日本細胞検査士	
臨床検査技師	道面 将嗣	日本細胞検査士	

□ 科の特徴

1. 病理医2名でダブルチェックを行い、診断精度の向上を図っています。
2. 細胞検査士の資格を持つ検査技師と協力し、細胞診業務を行っています。
3. コンサルテーション等で京大病院病理診断科との協力体制を築いています。
4. 組織診、細胞診、術中迅速診断、病理解剖、CPCのいずれについても正確かつ迅速な診断を心がけています。
5. カンファレンス等を通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 診療(業務)内容

1. 組織診断：生検や手術によって採取された検体に対し、良悪性の判定、炎症の有無などを調べ、診断名を確定します。また、治療効果や腫瘍のステージ、転移の有無などの判定を行い、以後の治療方針の決定に役立てています。2017年は8011件の組織診断を行いました。
2. 細胞診：子宮頸部擦過、尿、喀痰、甲状腺やリンパ節の穿刺などによって得られた細胞を観察し、良悪性の判定を行います。2017年は7764件の細胞診を行いました。
3. 他院標本診断：セカンドオピニオンや転院によって当院を受診された患者さんが持参された標本を改めて検討し、診断の確認を行っています。2017年は組織診137件、細胞診11件の他院標本診断を行いました。

4. 術中迅速診断:手術中に提出された検体を15-20分程度で診断し、手術範囲や術式の決定に役立てています。2017年は447件の術中迅速診断を行いました。
5. 病理解剖:亡くなられた患者さんのご遺体を解剖し、病態を詳しく調べて、生前に分からなかった事も解明しています。2017年は19件の病理解剖を行いました。
6. CPC:臨床各科と合同で病理解剖症例の検討を行い、様々な視点から病態を調べて、今後の診断や治療に役立てています。また、研修医と共に発表を行い、医学教育に寄与しています。
7. カンファレンス:臨床各科と定期的にカンファレンスを実施し、臨床情報と病理所見の摺り合わせを行っています。また、手術検体の切り出しの際の外科医立ち会いや、個別症例についてのディスカッションを通じて臨床医とのコミュニケーションを図ることで、より臨床の現場に即した診断が行えるよう努めています。

□ 学術活動報告(学会・研究発表など)

区分	演者・演題・学会名
国内学会	川畑 茂、山田 洋介、橋本 恭一、羽賀 博典、山田 泰広 Apc 遺伝子変異による細胞種特異的な腫瘍形成 第106回日本病理学会総会 2017.4.28 東京
国内学会	竹井 雄介、森吉 弘毅、小野 一雄、村上 一郎、巖本 三壽、羽賀 博典 ランゲルハンス細胞組織球症におけるKIR2DL4の発現と機能解析 第106回日本病理学会総会 2017.4.28 東京

□ 投稿論文など

著者	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No	page	発行年 および月
Fujita K, Mizumoto Y, Moriyoshi K, Araki N, Mio T.	Acute onset of ulcerative colitis during chemoradiotherapy for anaplastic lymphoma kinase-positive lung adenocarcinoma.	Respirol Case Rep.	6	2	e00288	2017.12
Nakatani R, Murata T, Usui T, Moriyoshi K, Komeda T, Masuda Y, Kakita-Kobayashi M, Tagami T, Imashuku S, Kono S, Yamada K, Shimatsu A.	Importance of the Average Glucose Level and Estimated Glycated Hemoglobin in a Diabetic Patient with Hereditary Hemolytic Anemia and Liver Cirrhosis.	Intern Med.	57	4	537-543	2018.2
Motoishi M, Horimoto K, Hayashi K, Sawai S, Moriyoshi K.	Coexisting Thymic and Pulmonary Carcinoid Tumors Associated with Multiple Endocrine Neoplasia Type1. doi: 10.5761/atcs.cr.17-00042. [Epub ahead of print]	Ann Thorac Cardiovasc Surg.				2017.10
Takei Y, Ueshima C, Kataoka TR, Hirata M, Sugimoto A, Rokutan-Kurata M, Moriyoshi K, Ono K, Murakami I, Iwamoto S, Haga H.	Killer cell immunoglobulin-like receptor 2DL4 is expressed in and suppresses the cell growth of Langerhans cell histiocytosis.	Oncotarget.	8	23	36964-36972	2017.6